

第34回カツオ県民会議幹事会 議事要録

日時：令和3年3月9日（火） 11：00～13：00

場所：司本店

出席者：山崎 道生、受田 浩之、竹内 太一（代理出席 北村 宏輔）、木村 祐二、
竹内 孝久（代理出席 福島 徹）、千頭 邦夫、中澤 陽一、中田 勝淑、
久松 朋水、黒笹 慈幾、西村 純子、川淵 孝、小笠原 慶二、
岡本 吉行、市川 幸

開催にあたり山崎会長より挨拶があった。

○第33回幹事会議事要録（案）の確認が行われ確定された。

（1）分科会の活動報告について

新型コロナ感染防止の観点から分科会を開催していない。

本年度の活動経費については、情報発信分科会、消費・漁業分科会、調査・保全分科会は辞退する事が報告された。

（2）受田議長よりオンライン Katsuo セミナー（第1回～5回）の報告があり、幹事より以下の意見がでた。

- ・いろいろな方面からご意見をいただいたので良かった。
- ・オンラインで十分効果があるのではないか。対面でのシンポジウムと実績は変わらない。
- ・PC上で資料が共有できるので、分かり易かった。
- ・リアルでやるよりコメントも共有でき分かり易かった。
- ・機材を準備して、学生に撮影してもらうのはどうか？
- ・半年はオンラインセミナーを続けてはどうか？
- ・動画にテロップをいれたらどうか？（学生にバイトしてもらうのも一案）

（3）令和3年度の活動について

○令和2年度収支（令和3年3月5日現在）が報告され、確認された。

○令和2年度オンラインセミナーはカツオ資源に特化し、アーカイブできたので、次年度は、「食」としてのカツオの価値等、セミナーの年間計画を立て、色々なコンテンツ内容を視野に入れつつ、引き続きオンラインセミナーを継続する方向で検討する。次回の幹事会で具体的な案を提案したい。

○今年度の総会を5月に開催予定とし、新型コロナウイルスの状況により、対面か書面とする。

（4）WCPFC17（オンライン）について

受田議長より、以下の報告があった。

- ・初のオンライン会議となった為、加盟国間で十分な議論ができず、管理基準値を含めた資源管理措置の協議には至らなかった。

- ・新型コロナウイルスの影響が続く中で十分な議論を行うため、次回の WCPFC までにワークショップを最低 2 回実施することが決まった。

- ・持続可能なカツオ資源管理を求める日本企業から WCPFC と水産庁対して要望書が提出された（国内初）。

(5) 幹事の選出について

受田議長（幹事長）より、情報発信分科会 小笠原慶二委員の幹事としての発議があり、承認された。

(6) 次回の幹事会を 4 月に開催することが決定し、後日、事務局より日程調整を行うこととした。

以上